

都知事選について

森田実氏（政治評論家）のツイート（12.11.29）

12.16 都知事選の基本構図は【都民目線・民主都政の宇都宮】対【上から目線・独裁都政継承の猪瀬】／宇都宮候補に集まる都民の期待／多くの都民は独裁型の石原前都知事の後継者ではなく、石原都政を改革する都民のための都政を宇都宮候補に求めている。

多くの都民は、独裁的な石原都政、マスコミを使って都民をマインドコントロールしてきた石原慎太郎氏のやり方に反発を感じている。石原氏が都知事の地位を使って尖閣問題に関与し、中国と戦おうとしたことについても、都民は強い批判をもっている。

独裁的な都政を行ってきた「上から目線・独裁」の石原慎太郎、猪瀬直樹両氏に対し、宇都宮健児候補は「都民の、都民による、都民のための都政」すなわち都民目線に立った民主主義的な都政の実現をめざしている。

12月16日の東京都知事選の基本構図は、「都民目線に立った民主都政をめざす宇都宮候補」対「独裁的で上から目線の石原慎太郎前都知事の後継者・猪瀬候補」である。たしかに猪瀬氏には、自民党と公明党という強力な味方がついている。しかし、「自民党・公明党連合」が万能であるわけではない。

「自民党・公明党連合」が猪瀬氏のために全力で選挙運動をやればたしかに強力であるが、しかし、一般の都民の多くは「自民党・公明党連合」よりはるかに多い。圧倒的多数を占める無党派都民は、都民目線の人道主義者の宇都宮氏に惹かれるように私は思う。